

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
国語	文学国語	2	習熟度別	文系	3

教科書（発行所）	文学国語（明治書院）
教科書以外の教材	共通テスト 国語過去問題（尚文出版）

目 標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
	学期	学習事項	学習内容	考查等	
学習計画	1 学期	都市と移動「本を読む」・「檸檬」 ・言語活動：暮らす、生きる、そしてそれを描く 文学と歴史「みづの上日記」 ・言語活動：なぜ名作は「名作」なのか	・作品に表れている登場人物のものの見方や感じ方を、地理的特色や時代背景を踏まえて解釈する。 ・さまざまな小説に関連のある「場所」について調べ、その「場所」が作品にどのような影響を与えているか考える。 ・時代状況や舞台設定に注目し、作品とのかかわりを捉える。 ・歴史的な文脈の中に作品を置き、批評性や問題意識をつかむ。 ・文学作品がどのように評価され、読まれてきたのかについて考え、その評価を問い直す。	課題考查 中間考查 期末考查	
	2 学期	共通テスト過去問題 R3年 第一日程「羽織と時計」 R3年 第二日程「サキの忘れ物」 R3年 第三日程「多情仏心」 R4年 本試験「庭の男」 R4年 追試験「陶古の女人」 R5年 本試験「飢えの季節」 R5年 追試験「パンドラの匣」	・提示された問いに注意して物語の内容を理解する。 ・文章の展開を整理し、変化するもの／変化しないものを捉える。 ・登場人物の心情や行動の変化を理解し、状況の変化とあわせて考える。 ・時代状況に注意しながら、物語の内容への理解を深める。・登場人物の行動の原因・理由、また行動を起こす目的・意図を客観的に捉え、その時の心情を推察する。	課題考查 中間考查 卒業考查	
	3 学期	共通テスト過去問題 R6年 本試験「栈橋」 R6年 追試験「鳥たちの河口」 R7年 本試験 R7年 追試験 進学希望者がいる国公立大学、私立大学、各種専門学校等の過去問題演習と解説。	・どのような人物による視点で描かれているのかに注意し、文章全体への理解を深める。 ・比喩やオノマトペなどの表現の特徴に着目する。 ・本文の主題を理解する。 ・抽象的な表現を本文に即して具体的に表現できるようになる。また、具体的な表現を的確なことでまとめる。		
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 提出物・宿題の期限を必ず守る。 2 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 3 国語に苦手意識を持っていても、どれだけの努力をしたかが大切である。主体的・積極的に学習へ取り組もう。 4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 5 1年間の学習を通して言語感覚を磨き、思考力や自ら進んで表現する姿勢を養おう。			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	定期考查・課題確認テスト（小テスト）・課題レポート・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及び自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		